

令和7年11月吉日

静岡県作業療法士会
県士会会員各位

第2回 事例報告会参加のご案内

公益社団法人静岡県作業療法士会 教育部
教育部理事 秋山 尚也
東部地区代表 平尾 和基

2024 年度以前に入会された会員対象（旧生涯教育制度）

※2025 年度に入会された方は新生涯教育制度の対象となります。

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

令和7年度現職者共通研修会を以下の通り開催しますので、ご案内申し上げます。この事例報告会は、日本作業療法士協会生涯教育制度の現職者共通研修対応です。参加者は「事例検討」、発表者は「事例報告」が履修できます。

また事例報告会にて、より多くの先輩作業療法士の方々の参加により、作業療法全体の質の向上にも繋がると考えますので、ぜひ1人でも多くの先輩作業療法士の参加もお待ちしております。

謹白

—記—

1. 開催日：令和7年12月13日（土）

2. 開催方法：ZOOM

3. 参加費：無料

＜Zoom 参加時の注意点＞

県士会教育部主催の研修会において、ZOOM等における研修会参加時は、必ず画面は「ON」の状態にて聴講をしてください。基本的には講義中は常に「ON」とし、スタッフがしっかりと聴講時の様子を確認ができるようにしてください。また、画面に顔がしっかりと映るようにしてください（前額部や頭髮のみ、下顎以下などはNG）。

音声に関しては、質疑応答や講師・運営より求められた時以外常に「OFF」の状態としてください。

受講時、安定したインターネット環境が維持できる場所にて受講をお願いいたします。スマートフォンやタブレットからの参加はしないでください。また、受講場所として、必ず屋内で着席をした状態での受講をお願い致します。

（過去に屋外や移動（歩行や車移動）しながら聴講している受講者がいました。）

参加者名は 発表グループ（A or B）、会員番号、名前を記載して下さい。

例（A 1234 静作太郎）。

4. プログラム

9:30～10:00 受付

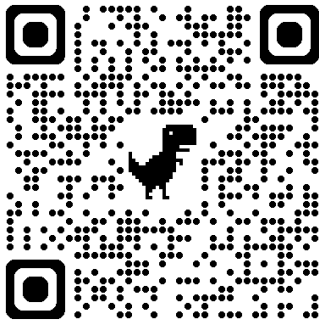
10:00～12:00 テーマ 9.10「事例検討」「事例報告」

12:05～ 事務連絡 終了

5. 参加時の注意事項について

- ・発表者が多いため、ブレイクアウトルームで2つの部屋（A グループと B グループ）に分かれ、事例報告会を開催いたします。
- ・5 演題発表終了程度で途中休憩の時間を設けます。
- ・発表者及びグループ分けは、下記（別紙）を参照して下さい。事例報告会実施中に部屋の移動はできませんのでご了承下さい。
- ・発表時間は口述発表 7 分、質疑応答・指導者(SV)からのコメント 4 分：計 11 分以内に終了とさせていただきます。
- ・ルームの人数比率に応じて、発表者、指導者以外の参加者の方に関しては、ルームの希望に沿えない場合も御座います。ご理解ご了承ください。

6. 申し込み方法



Peatix にて <https://2025jireikentoukai02.peatix.com>

〆切：令和7年12月11日

※12月12日（金）に申し込み者に対し、ZOOM の URL 等を Peatix のメールにて送信させていただきます。発表者、発表者のスーパーバイザー、履修の有無にかかわらず参加希望者は必ず申し込みをお願い致します。

※12月12日（金）19：00以降になっても、メールの連絡が来ない場合は、HP 掲載の開催案内に掲載されている静岡県士会教育部（kyoikubu.tobuchiku.shizuot@gmail.com）までご連絡ください。（前回も、メールが届かない会員が数名いました。必ずメールの受信を確認し、連絡がなければメールにてお問合せ下さい）

7. その他：

- ・協会及び県士会へ入会されていない方は、必ず入会手続きを済ませて下さい（参加は会員に限ります）。受講後、協会に申請をしますので協会会員番号を取得されていないと履修反映ができません。
- ・※事前の問い合わせについては下記メールアドレスまでご連絡下さい。
※申し込み後のキャンセルについても下記メールアドレスまでご連絡ください。

8. 問い合わせ先

静岡県作業療法士会 東部地区地区代表 平尾 和基
メール：kyoikubu.tobuchiku.shizuot@gmail.com

9. 演題内容

A ルーム 座長：JA 静岡厚生連 中伊豆温泉病院 二之宮篤子 氏

①「頸椎術後患者に対し急性期より QOL に焦点をあてた介入～ハーモニカ演奏再開を目指して～」
順天堂大学医学部附属 静岡病院 井ノ上つぐみ 氏

②「意味のある作業」を用いた心理的アプローチの一例 一下腿切断後の高齢者に対する役割・習慣の再構築の支援～
浜松市リハビリテーション病院 杉原華生 氏

③「困っていない手"から"使いたい手"へ～回復を実感したことでリハビリ意欲が向上した症例～」
浜松市リハビリテーション病院 縣麻菜 氏

④「タイトル未定」
浜松市リハビリテーション病院 新村麻里奈 氏

⑤「トイレ自立に向けてのアプローチ」
豊田えいせい病院 石塚結衣 氏

⑥「タイトル未定」
菊川市立総合病院 朝津 瑞生 氏

⑦「タイトル未定」
瀬尾記念慶友病院 中崎 秀章 氏

⑧「タイトル未定」
静岡リハビリテーション病院 服部愛実 氏

⑨「タイトル未定」
福田西病院 葭川奈美 氏

⑩「タイトル未定」
福田西病院 松島裕美 氏

⑪「タイトル未定」
遠州病院 富田玲菜 氏

B ルーム座長：沼津市立病院 菅尾優 氏

⑫ 「認知症による易怒性を呈する利用者に向けた活動量向上への取り組み-ADOC での評価をチームに反映する-」 御殿場十字の園 御殿場通所介護センター 橋本知美 氏

⑬ 「リンパ浮腫の改善を目標に介入した症例」

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 溝口真永 氏

⑭ 「生きがいである食事動作獲得に向けて介入・指導した間質性肺炎の事例」 聖隷浜松病院 鈴木愛美 氏

⑮ 「タイトル未定」 浜松市リハビリテーション病院 廣瀬健人 氏

⑯ 「タイトル未定」 富士いきいき病院 佐野姫花 氏

⑰ 「タイトル未定」 NTT 東日本伊豆病院 播磨舞衣 氏

⑱ 「タイトル未定」 袋井市立聖隷袋井市民病院 島村美有 氏

⑲ 「タイトル未定」 中伊豆リハビリテーションセンター 齋藤怜奈 氏

⑳ 「タイトル未定」 中伊豆リハビリテーションセンター 岩崎翔悟 氏

㉑ 「タイトル未定」 中伊豆リハビリテーションセンター 大石真衣 氏